

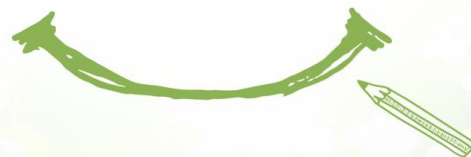
信州大学プロフェッショナルゼミ
基調講座

全コース共通講座

地方創生とデータ活用

～真の課題を捉え、変革を促すために～

RESAS



特定非営利活動法人SCOP

SCOP
Design the next stream

自己紹介



地域の課題解決・成長に寄与する 地域のための総合政策シンクタンク

当法人は、国立大学法人信州大学を母体とする地域シンクタンクです。社会科学に関する実学的技術を備え、深い洞察力を持って地域・社会の発展に寄与しています。



VISION

From government
to governance

事業概要

自立した地域社会を実現するために、多様な主体と連携して活力ある地域を構築するための様々な業務を行っています。

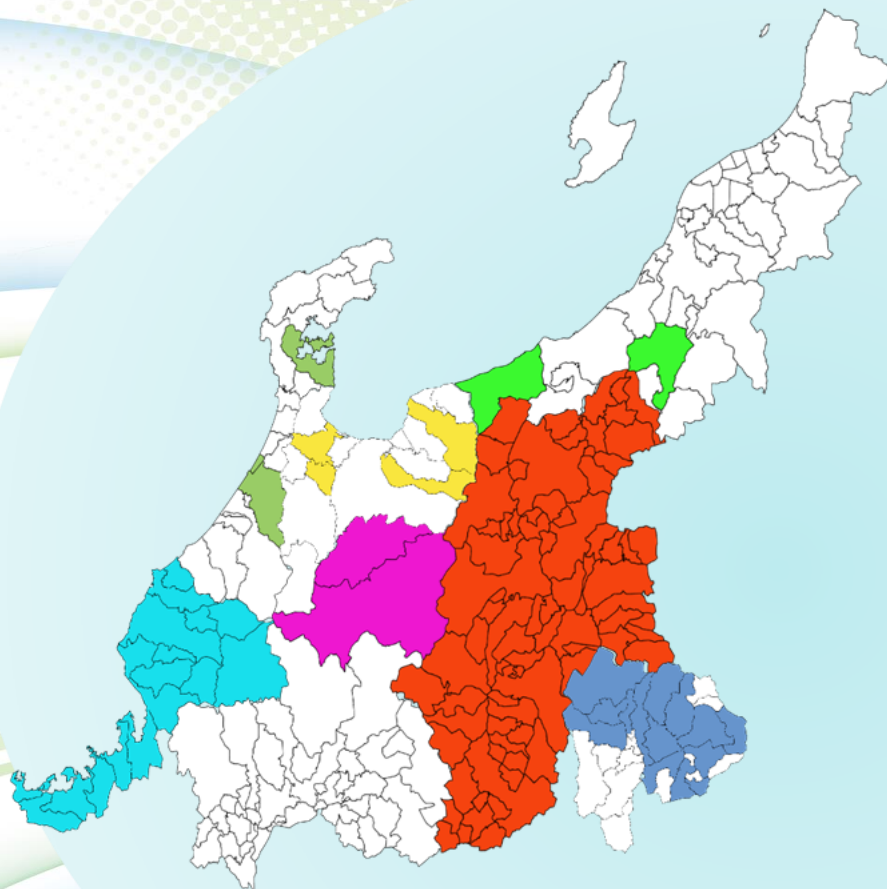
業務内容

- 行政計画策定
- 社会調査／市場調査
- プロモーション・地域ブランディング
- 各種コンサルティング
- 研修企画、実施
- フューチャーセンターの運営

法人概要

法人名	特定非営利活動法人 SCOP
設立	平成15年 8月22日
本部所在地	〒390-0811 長野県松本市中央2丁目3番17号 知新堂ビル3階-A
拠点	<中部事務所> 〒501-0118 岐阜県岐阜市大菅北8-13 <東京事務所> 〒156-0055 東京都世田谷区船橋4丁目26番7号
職員数	31名（うち調査研究技術者 24名）
関連会社	株式会社ソーシャルアーツコンサルティング

◆ 地域の総合政策シンクタンクとして、幅広い活動エリア・さまざまなジャンルに渡るプロジェクトを遂行しています。



長野県全域および岐阜県、山梨県、福井県、石川県、富山県、新潟県など北信越・中部エリアを中心に活動しています。

観光・インバウンド分野

地方部において観光は重要な産業です。近年の観光産業は、観光客の減少が続き、厳しい状況にあるといえます。魅力的な地域資源を発掘、磨き上げを行うなど、観光振興に力を入れています。最近では、インバウンド観光に力を入れており、海外からの誘客支援に取り組んでいます。

地域公共交通分野

住民の生活を確保することを目的とした地域公共交通網の形成及び確保・維持のための政策立案を始め、運行支援、利用促進策の立案・実施など、地域公共交通に関する総合的なコンサルティングに取り組んでいます。

福祉分野

少子化・高齢化が進む地方の現状と未来を見据え、高齢者・障害者・子育て・地域福祉等の福祉課題の解決に取り組んでいます。地域自治の確立を見据えながら、子どもからお年寄りまで安心して生活し続けられる地域の実現を目指しています。

都市・環境

低成長成熟社会における都市空間のあり方や暮らし方などを明らかにするため、各種都市政策、環境政策の立案・提言に取り組んでいます。

産業振興

雇用を生み、地域経済を循環させる地域産業の育成・振興を支援するための政策立案や地域資源を活用したビジネス支援などの中小企業政策の立案に加え、中小企業に対する具体的なコンサルティングも手がけています。

1. 地方創生に必要な思考とスキル



人口減少と地域経済縮小の克服

- 東京一極集中の是正
- 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- 地域の特性に即した地域課題の解決

現代日本の閉塞を打開するには

- 現代日本は高度成長を終え、低成長・成熟・縮約期に
- 世界規模の情報化により、**知識・情報の入手が容易に**
- **知識・情報を活用し、社会・地域・組織のあり方、**
政策・制度・商品・サービスなどを賢く(再)設計する
ことが求められている

機能不全に陥っている
既存のモノ・コトの再設計

情報・
知識を
戦略的に
活用

知識・情報を活用した
新視点のモノ・コトの設計



前例のない21世紀型の
問題解決 ・ 価値創造

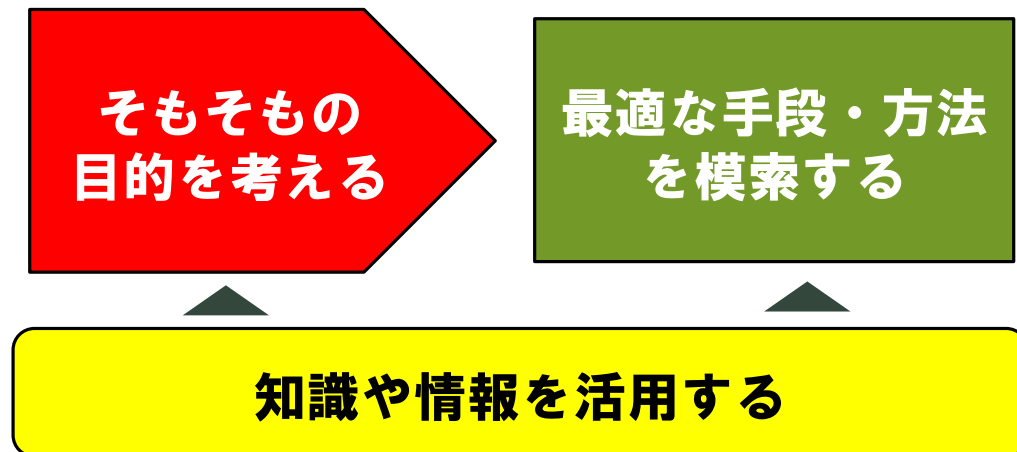
地域の再設計に必要な力

- 情報・知識を戦略的に活用するための素養
「戦略的思考」と「情報リテラシー」

「戦略的な思考」の本質

「全体像を把握しながら最も効果の高い部分を見極めて、
そこに時間と労力を投入すること」

「戦略的な思考」の基本



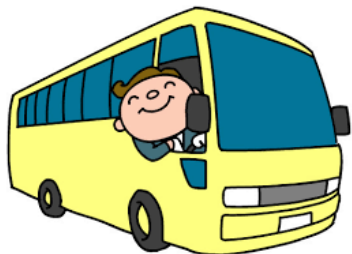
<情報リテラシー>

情報を自己の目的に適合するように使用できる能力（情報活用力）。

情報の主体的な
選択、収集、活用、編集、発信

■ 戦略的思考に基づく事業立案とは？（例題）

例) 桜の名所への
誘客事業

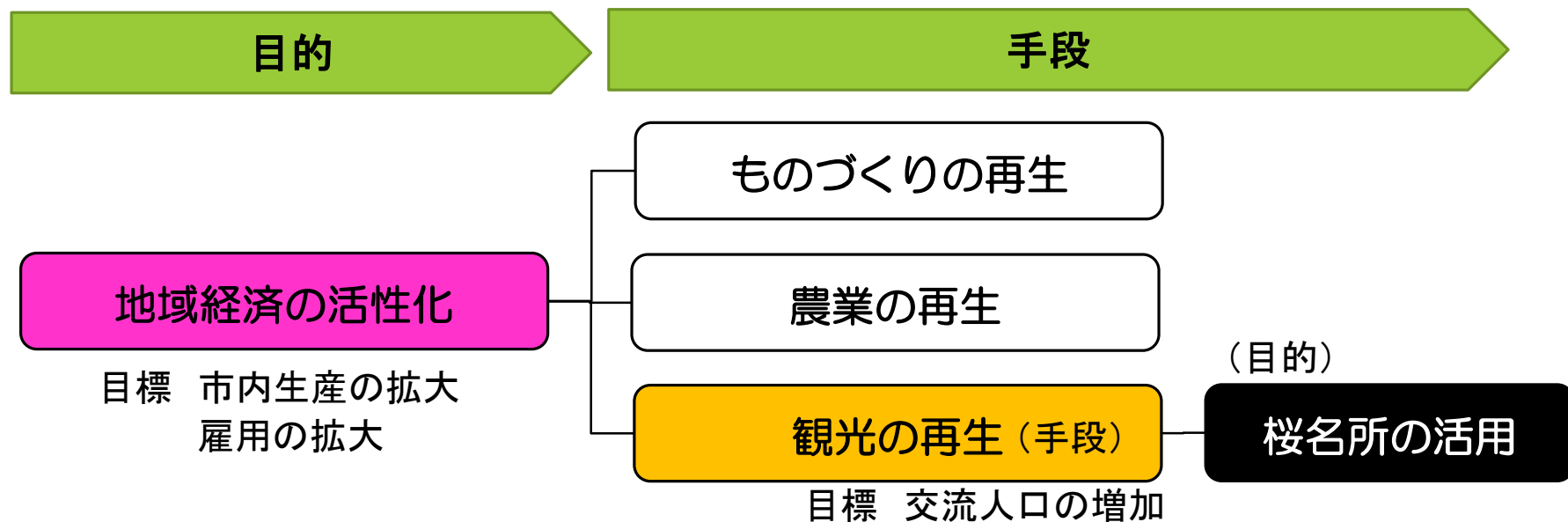


- A市は、政策目標「交流人口5万人増」に向けて、桜の名所の大型広告を打ち、大型バス用の駐車場を整備。
- この結果、桜の名所には、都市部からの観光客が大型バスで大挙し、隣接する町で昼食をとり、隣県で宿泊するようになった。
- この事業は、入込み客を増加させ、交流人口5万人に貢献した。
- 一方、シーズンになる大渋滞が起きており、市では新たな道路の建設を検討している。

Q. この事業は戦略的に成功していると言えますか？

A 成功していません。

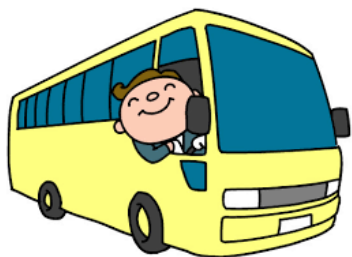
理由は、交流人口の増加は、市内生産と雇用の拡大のための手段だからです。
来訪者が増えても、市内消費が拡大せず、コストが増えるのは「本末転倒」です。



目の前の事業目標だけでなく「事業のそもそもの目的の実現」という
全体を俯瞰する視点に立って事業を立案する必要がある

「桜の名所」を活用した戦略的事業立案の例

- 市内での消費・支出額を増やす
 - ・ 地元産食材を使った弁当・土産品の開発・販売
 - ・ 記念撮影サービスを手配
 - ・ 市内の旅行代理店の独自ツアー商品の開発
- 滞在時間を伸ばす
 - ・ 名所の歴史や花などのガイドサービスを提供
 - ・ 近隣の散歩マップと立ち寄り特典の提供
 - ・ 夜間のライトアップ
 - ・ 市内宿と名所が連携したツアーの開発 等々



「市内生産の拡大・雇用の増加」（目的）につながるあらゆる「交流人口増加策」（手段）を考え、実施するべき。
・ 反対に「目的」の実現につながらない「手段」はすべきではない

戦略的な思考は、常に「目的ベース」

最適な手段を模索する

■ 目標達成の手段は無数にある

目標

交流人口
1,000万人増

宿泊客数
300万人増

手段

ターゲット

首都圏

中京圏

東アジア

シニア層

子育て世代

学生

宿泊者を増やす方策

サービスの高度化

夜・早朝の
観光コンテンツの開発

連泊者への優遇策

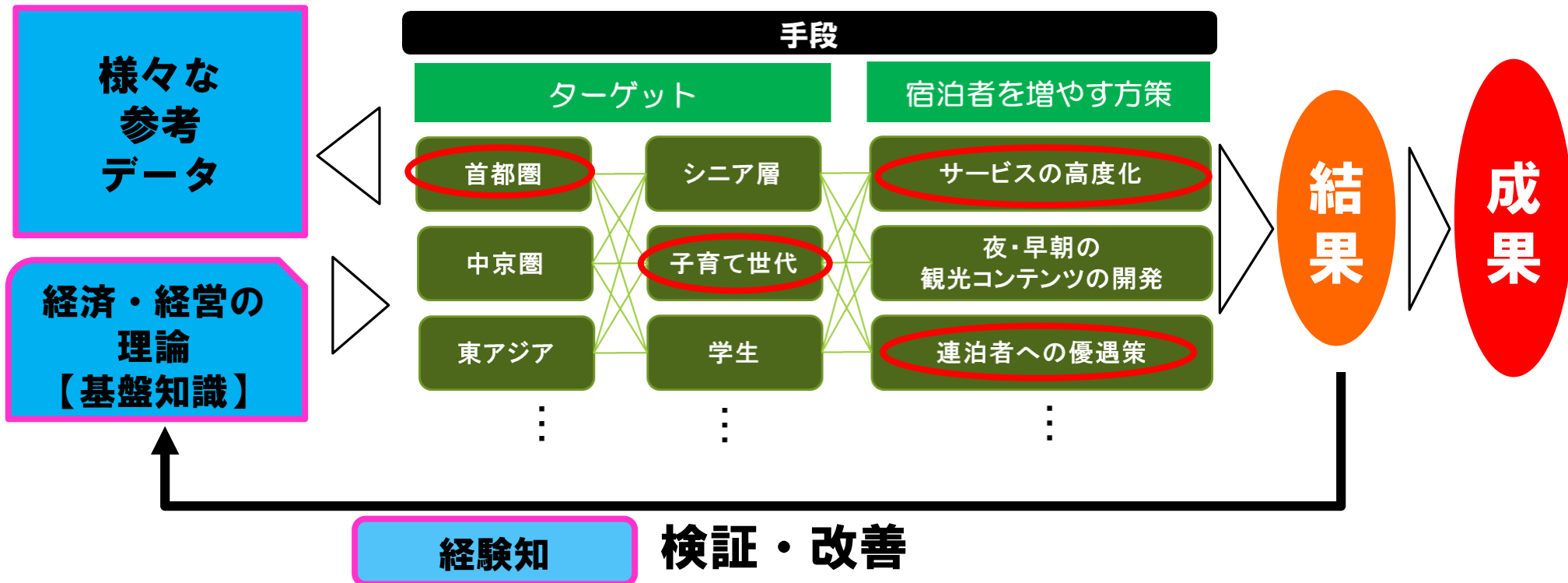


目標(ゴール)は同じでも手段は無数にある。
あらかじめ用意された「正解」はないため、
「結果」を出すための最適な手段を模索する必要がある。
(前例踏襲の大局にある思考)

知識や情報を活用する

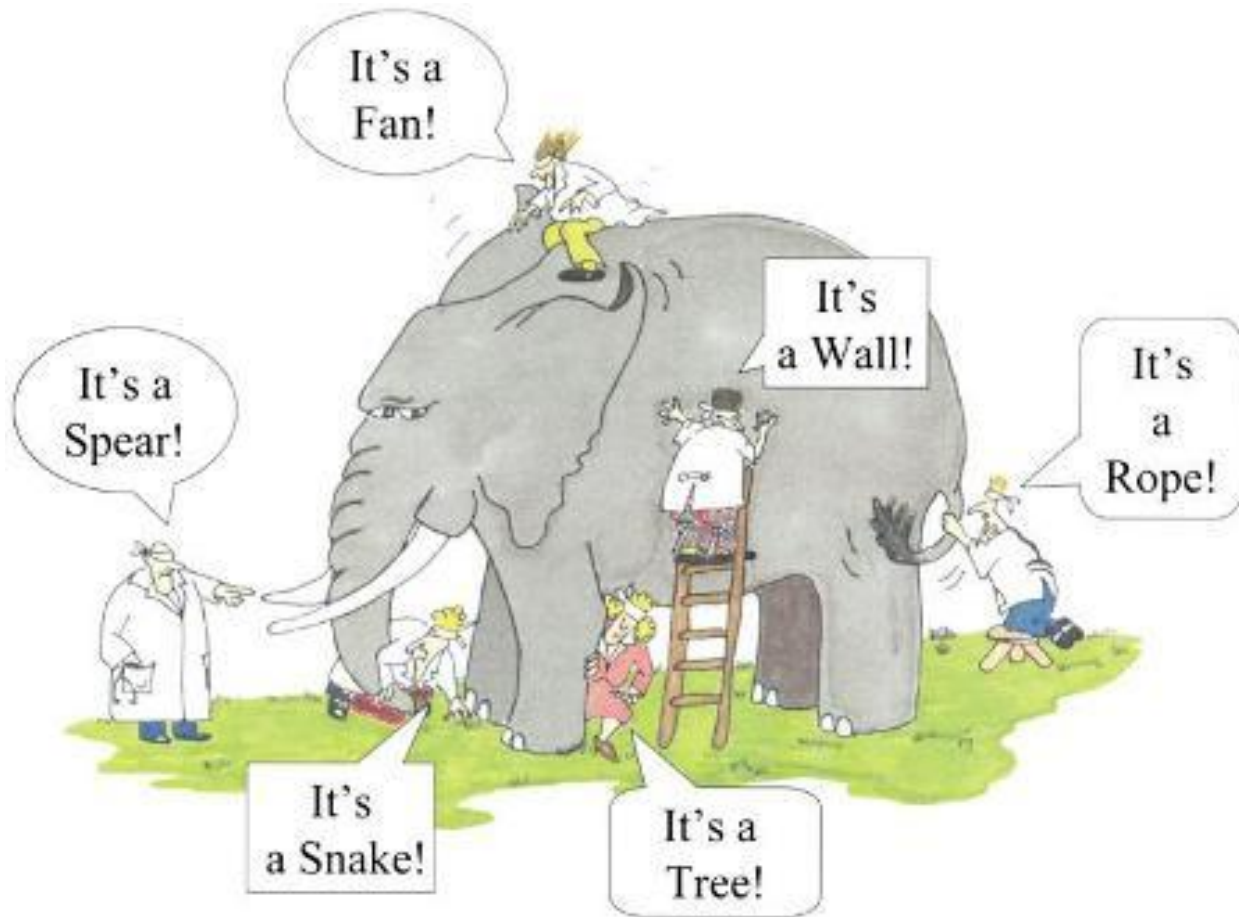
- 「知識・情報」は、無数の選択肢から“よりよい判断”をするための材料
実践を通じて得た“経験知”も重要な「知識・情報」と言える

知識・情報 >> 最適な手段の選択と実施 >> 結果 >> 成果



地域の問題を捉える難しさ

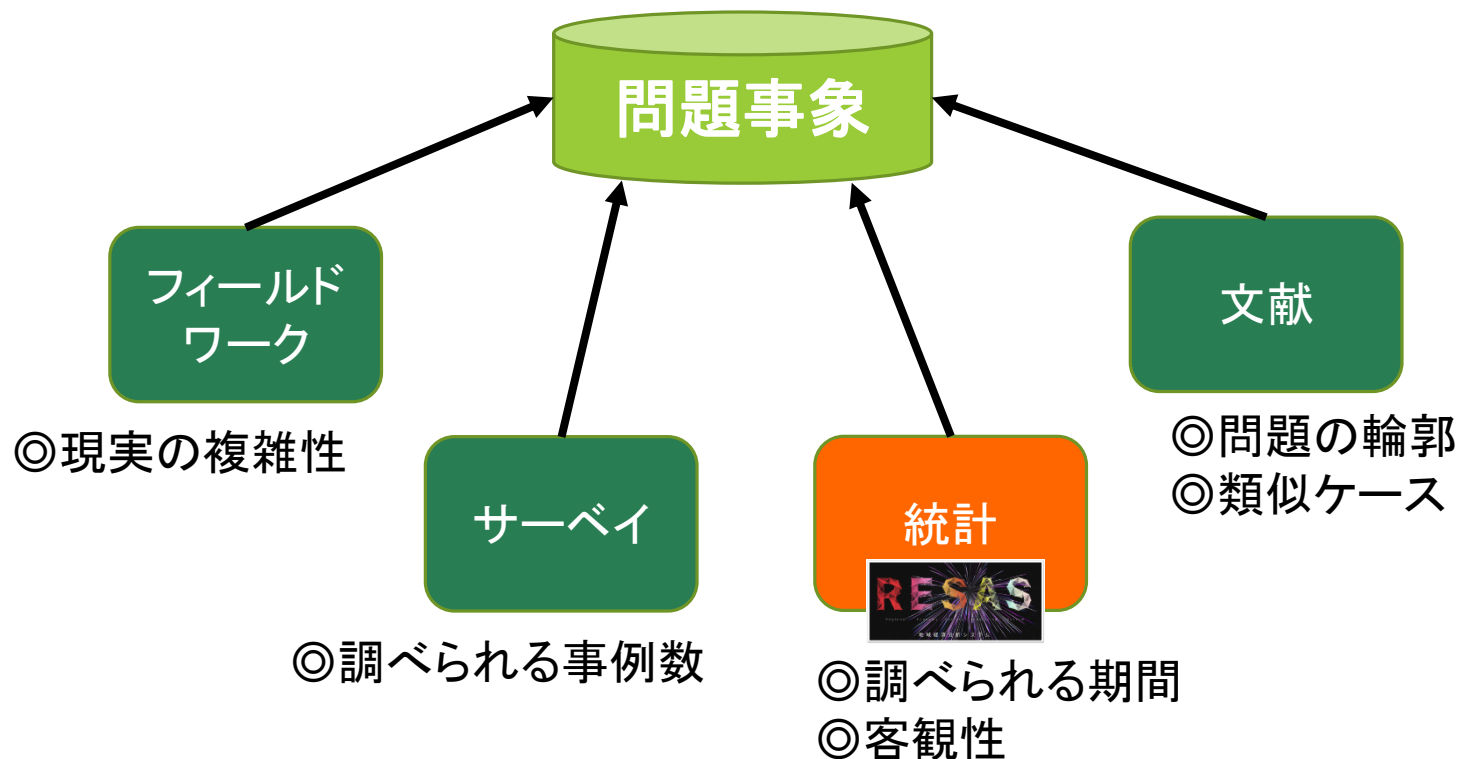
■群盲 象をなで、評す



- 地域問題は広範かつ複雑。全体が把握しづらく、目に見えるのは断片
- 情報入手の方法にも様々な選択肢があり、適切なアプローチが必要
- 入手した情報を総合して、全体構造や課題の核心をつかむことが必要

■ 調査手法ごとの強み・弱みを知る

- 参与観察、サーベイ、実験等のそれぞれの調査手法が持つ、強みと弱みを理解した上で、適切に使い分けることが必要



2. 地方創生とRESAS



RESASとは？

Regional
Economy (and)
Society
Analyzing
System



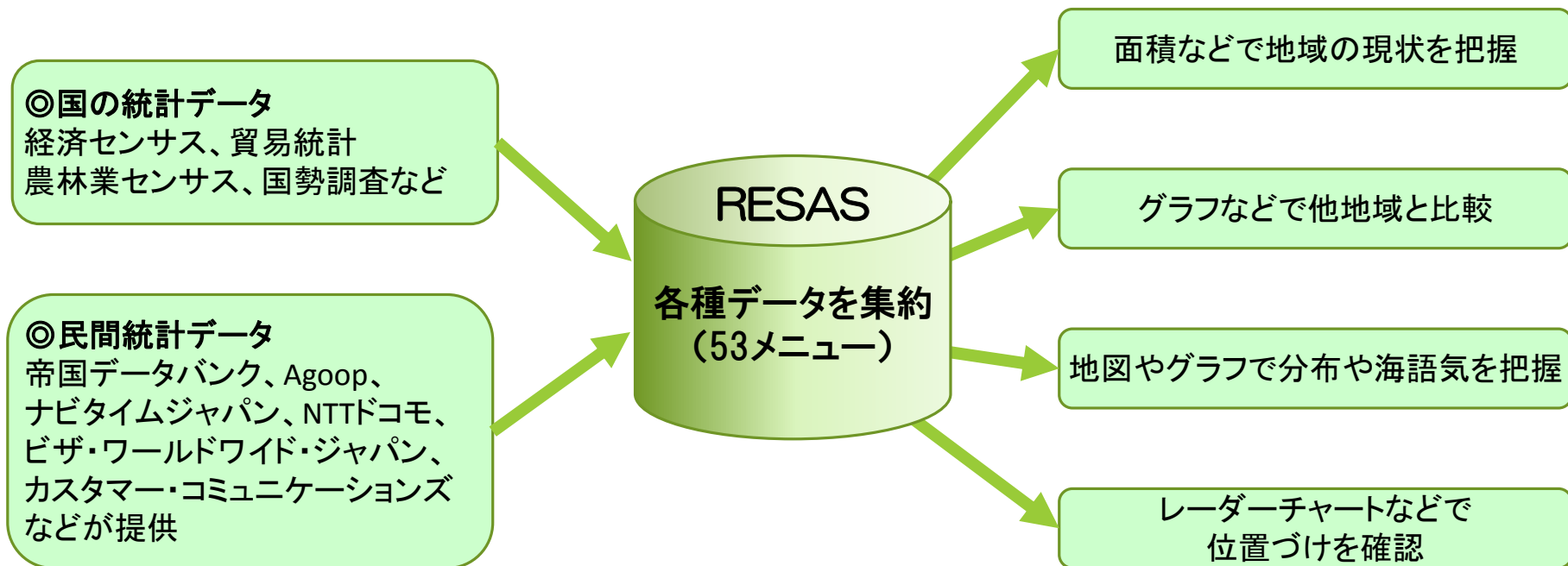
RESAS（地域経済分析システム）



RESAS 検索または（リーサス）

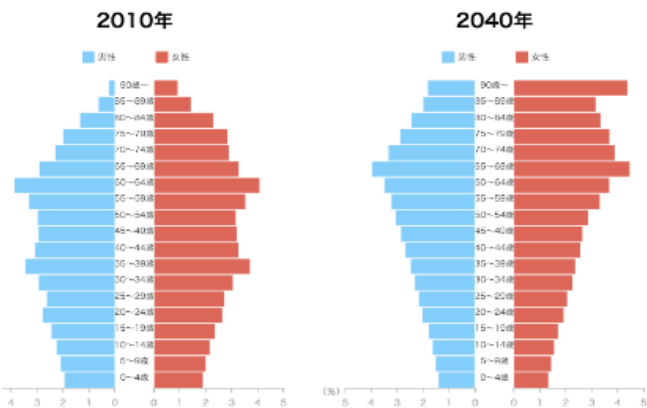
- 地域経済に関わる様々なデータを収集し、かつ、わかりやすく「見える化」するシステムとして国が構築
- 平成27年4月からインターネットで公開（ブラウザは現在Google Chromeのみ）。誰でも利用可能。
- 誰もがデータを活用して地域の現状を把握し、地域の実情に合った課題解決の取組みができるよう支援するシステム

(1) RESASの情報源とアウトプットの種類



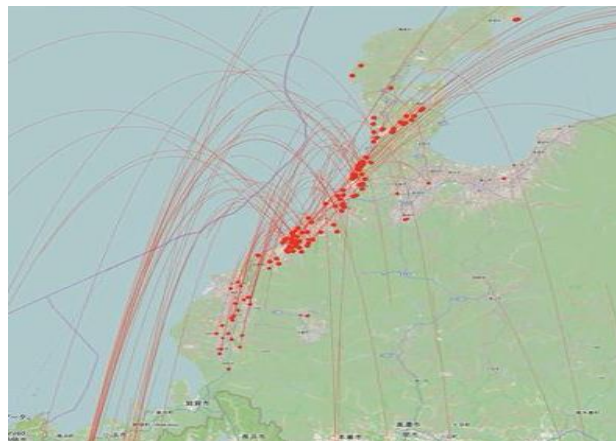
RESASでわかること（把握可能なデータ例）

人口マップ



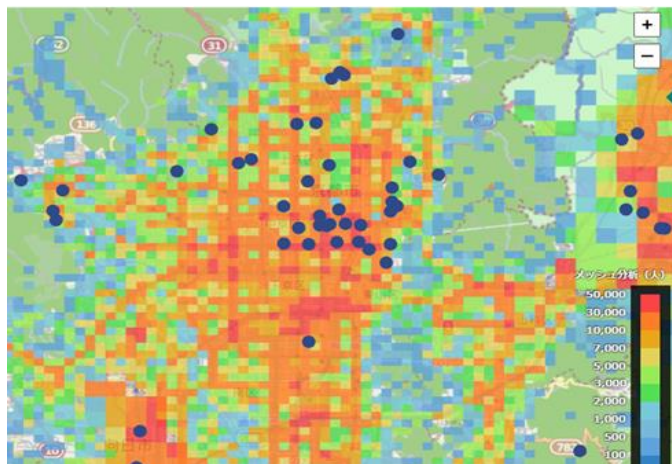
- 人口推計・推移
- 人口ピラミッド
- 出生数・死亡数
- 転入・転出 など

産業マップ



- 企業数
- 事業所数
- 雇用
- 売上付加価値額
- 稼ぐ力 など

観光マップ



- どこからどこに人が来ているか
- インバウンド観光動向 など

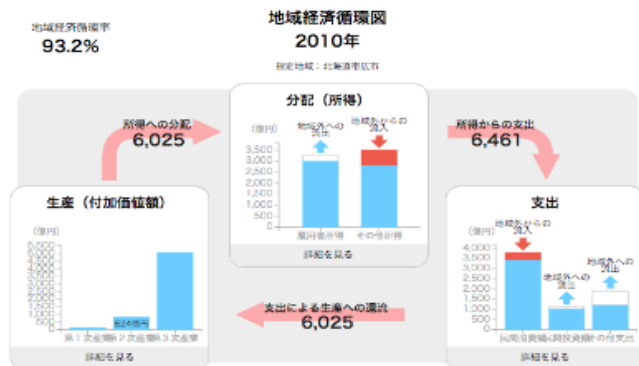
農林水産業マップ



- 農業部門別の販売、金額割合
- 農業経営者の年齢
- 農地の利用状況 など

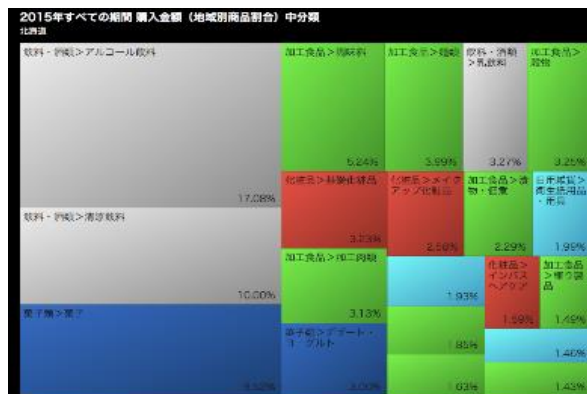
RESASでわかること（把握可能なデータ例）

地域経済循環マップ



- 自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出 など

消費マップ



- 飲食料品や日用品の購入金額
- 飲食料品や日用品の購入点数の商品別シェア など

自治体比較マップ

創業比率順位
岡山県自治体
2012年

標準自治体	全国
5位	448位

全国上位10自治体	全国下位10自治体	岡山県自治体上位下位5自治体
1位 滋賀県東近江	1,713位 福島県大郷町	444位 中野市
2位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	445位 高松市
3位 兵庫県赤松町	1,713位 福島県大郷町	446位 高松市
4位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	447位 高松市
5位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	448位 高松市
6位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	449位 高松市
7位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	450位 高松市
8位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	451位 高松市
9位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	452位 高松市
10位 徳島県美波町	1,713位 福島県大郷町	453位 高松市

- 経済構造、企業活動、労働環境、地方財政の他の自治体との比較

地域経済分析システム(RESAS)のマップ一覧

1. 産業マップ

- 1-1. 全産業花火図(一般/限定(※))
- 1-2. 産業別花火図 (※)
- 1-3. 企業別花火図 (※)
- 1-4. 稼ぐ力分析
- 1-5. 製造業花火図
- 1-6. 製造業の地域間比較
- 1-7. 中小・小規模企業財務比較
- 1-8. 研究開発費の地域間比較
- 1-9. 特許分布図
- 1-10. 事業所立地動向
- 1-11. 輸出入花火図
- 1-12. 企業の海外取引額分析
- 1-13. 海外への企業進出動向

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 農林水産業マップ

- 3-1. 農業マップ
 - 3-1-1. 農業花火図
 - 3-1-2. 農産物販売金額
 - 3-1-3. 農地分析
 - 3-1-4. 農業者分析
- 3-2. 林業マップ
 - 3-2-1. 林業総収入
 - 3-2-2. 山林分析
 - 3-2-3. 林業者分析

3-3. 水産業マップ

- 3-3-1. 海面漁業マップ
 - 3-3-1-1. 海面漁獲物販売金額
 - 3-3-1-2. 海面漁船・養殖面積等分析
 - 3-3-1-3. 海面漁業者分析
- 3-3-2. 内水面漁業マップ
 - 3-3-2-1. 内水面漁獲物等販売金額
 - 3-3-2-2. 内水面漁船・養殖面積等分析
 - 3-3-2-3. 内水面漁業者分析

4. 観光マップ

- 4-1. From-to分析(滞在人口)
- 4-2. 滞在人口率
- 4-3. メッシュ分析(流動人口)
- 4-4. 目的地分析
- 4-5. 外国人訪問分析
- 4-6. 外国人滞在分析
- 4-7. 外国人メッシュ分析
- 4-8. 外国人入出国空港分析
- 4-9. 外国人移動相関分析
- 4-10. 外国人消費花火図
- 4-11. 外国人消費分析

5. 人口マップ

- 5-1. 人口構成
- 5-2. 人口増減
- 5-3. 人口の自然増減
(地域少子化・働き方指標(散布図))
- 5-4. 人口の社会増減
- 5-5. 将来人口推計

6. 消費マップ

- 6-1. 商業花火図
- 6-2. 商業の地域間比較
- 6-3. 消費花火図
- 6-4. From-to分析(消費動向)

7. 自治体比較マップ

- 7-1. 経済構造
 - 7-1-1. 企業数
 - 7-1-2. 事業所数
 - 7-1-3. 従業者数
 - 7-1-4. 製造品出荷額等
 - 7-1-5. 年間商品販売額
 - 7-1-6. 付加価値額
 - 7-1-7. 労働生産性
- 7-2. 企業活動
 - 7-2-1. 創業比率
 - 7-2-2. 黒字赤字企業比率
 - 7-2-3. 経営者平均年齢(※)
- 7-3. 労働環境
 - 7-3-1. 有効求人倍率
 - 7-3-2. 一人当たり賃金
- 7-4. 地方財政
 - 7-4-1. 自治体財政状況の比較
 - 7-4-2. 一人当たり地方税
 - 7-4-3. 一人当たり市町村民税法人分
 - 7-4-4. 一人当たり固定資産税

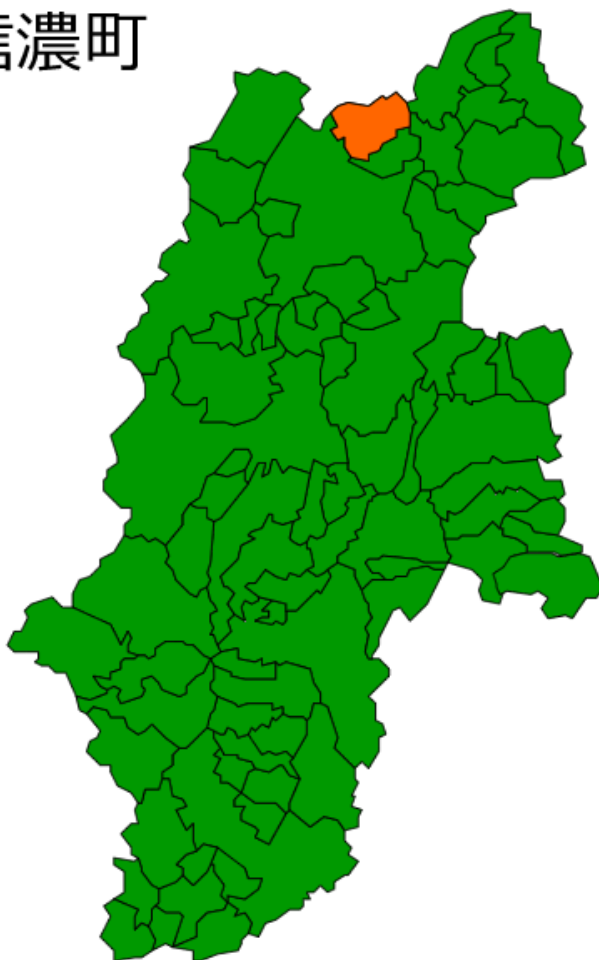
黒字：従来メニュー

赤字：28年度 第1次リリース分

※ 国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

3. RESAS・統計を活用した創生事業の分析例

信濃町



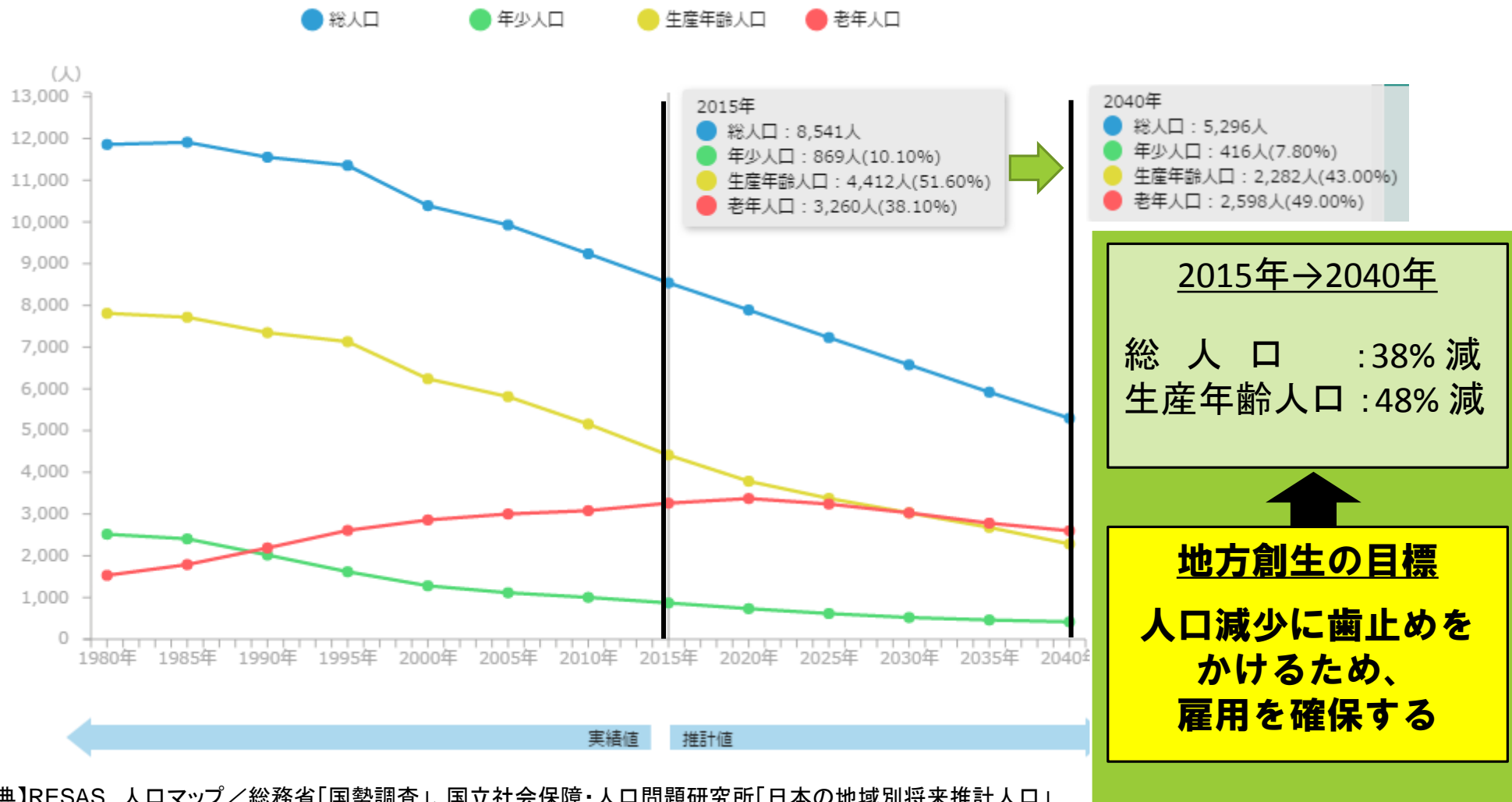
地方創生事業の事例

～「信濃町の地方創生の取り組み」の背景をRESASを活用して分析～

事業名	<p><u>森と人の共生による暮らし育み事業</u> 地方創生加速化交付金 平成28年度 採択事業</p>
概要	<ul style="list-style-type: none">• 町には豊富な森林資源と林業事業者があるが、地域材の品質が低くブランド力もないため、建材の供給だけでは林業の衰退に歯止めがかからない。• そこで、地域産木材を活用し、木質バイオマス暖房等の付加価値を付けた「地域型住宅」の普及促進を図るとともに、森林を活用した交流人口増を同時に進める。
対象地・提案者	長野県信濃町

事業の背景(人口減少・生産年齢人口の減少の克服が課題)

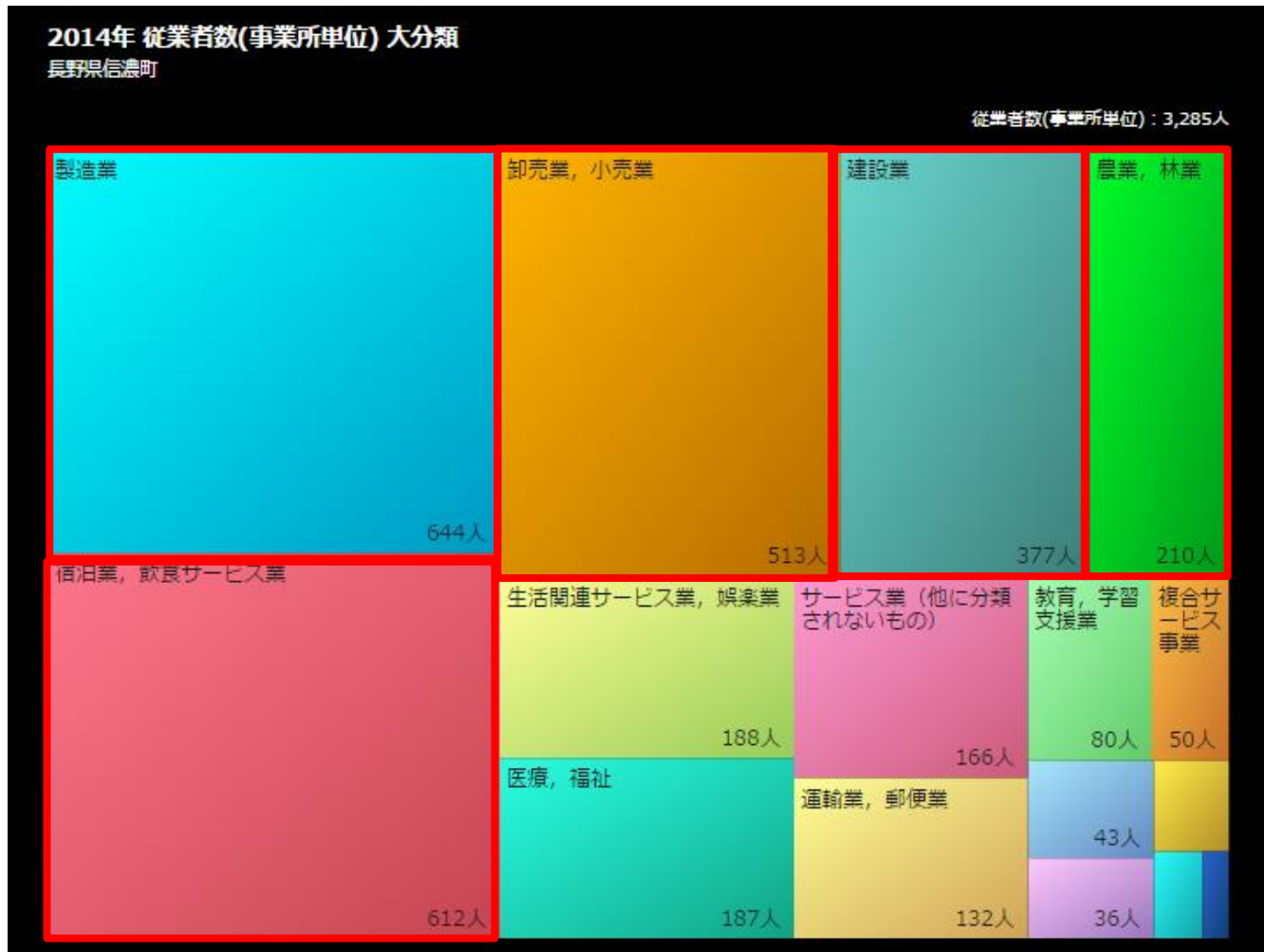
■総人口、年齢3区分の推移【RESAS:人口マップ-人口構成-人口推移】



【出典】RESAS 人口マップ／総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

地域産業の特徴(強み・弱み)の分析①

■ 2014年 従業者数(事業所単位) 大分類【RESAS:産業マップ-全産業花火図-】



地域の雇用の大部分を支えているのは以下である

■ 200人以上を雇用する産業

第1次産業
・農業、林業

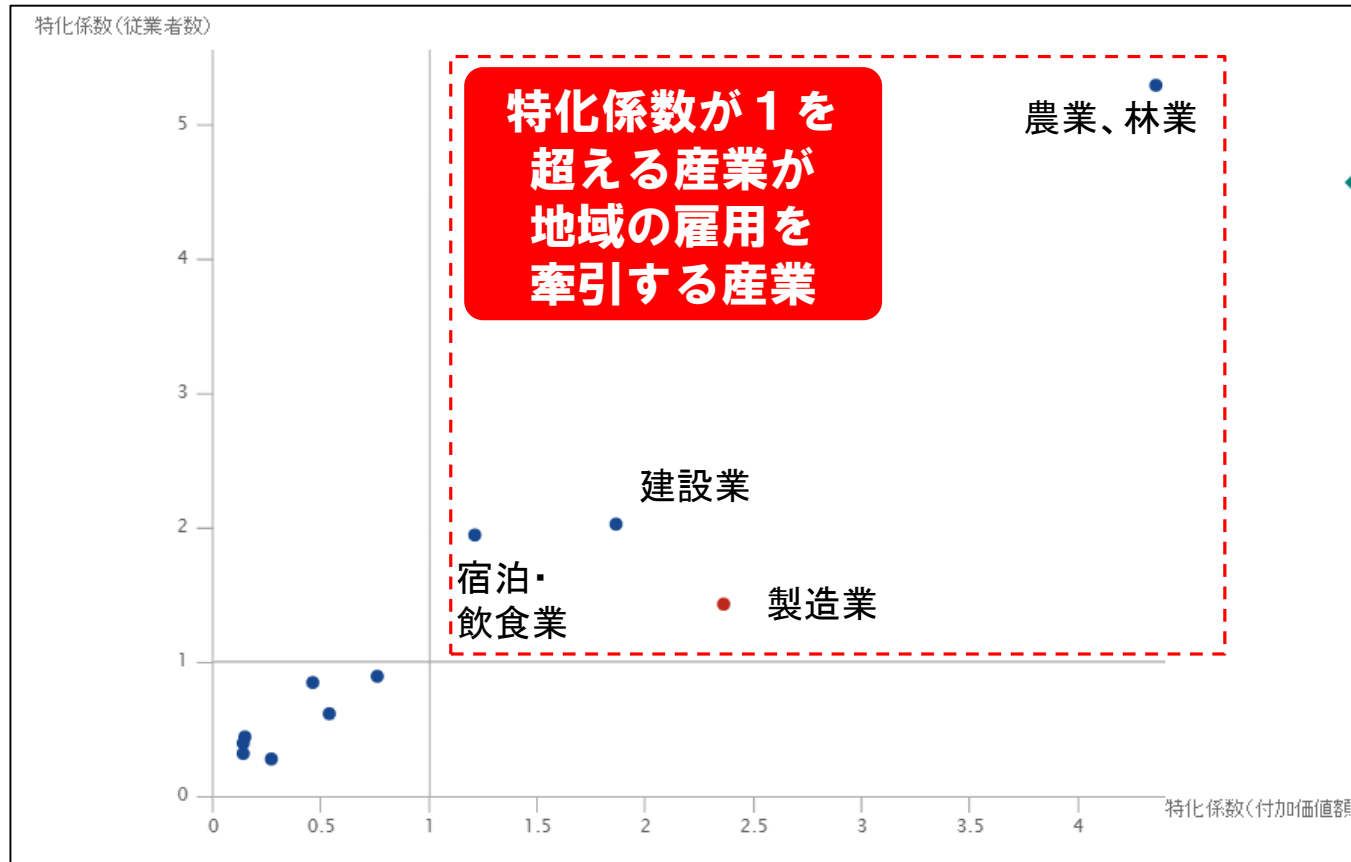
第2次産業
・製造業
・建設業

第3次産業
・宿泊業、飲食サービス業
・卸売業、小売業

【出典】RESAS 産業マップ / 総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

地域産業の特徴(強み・弱み)の分析②

■ 特化係数(従業者数 × 付加価値額)【RESAS:産業マップ-稼ぐ力分析】



■ 全国と同産業の比率と比較して、信濃町に特化が見られる産業

第1次産業
・農業、林業

第2次産業
・製造業
・建設業

第3次産業
・宿泊・飲食業

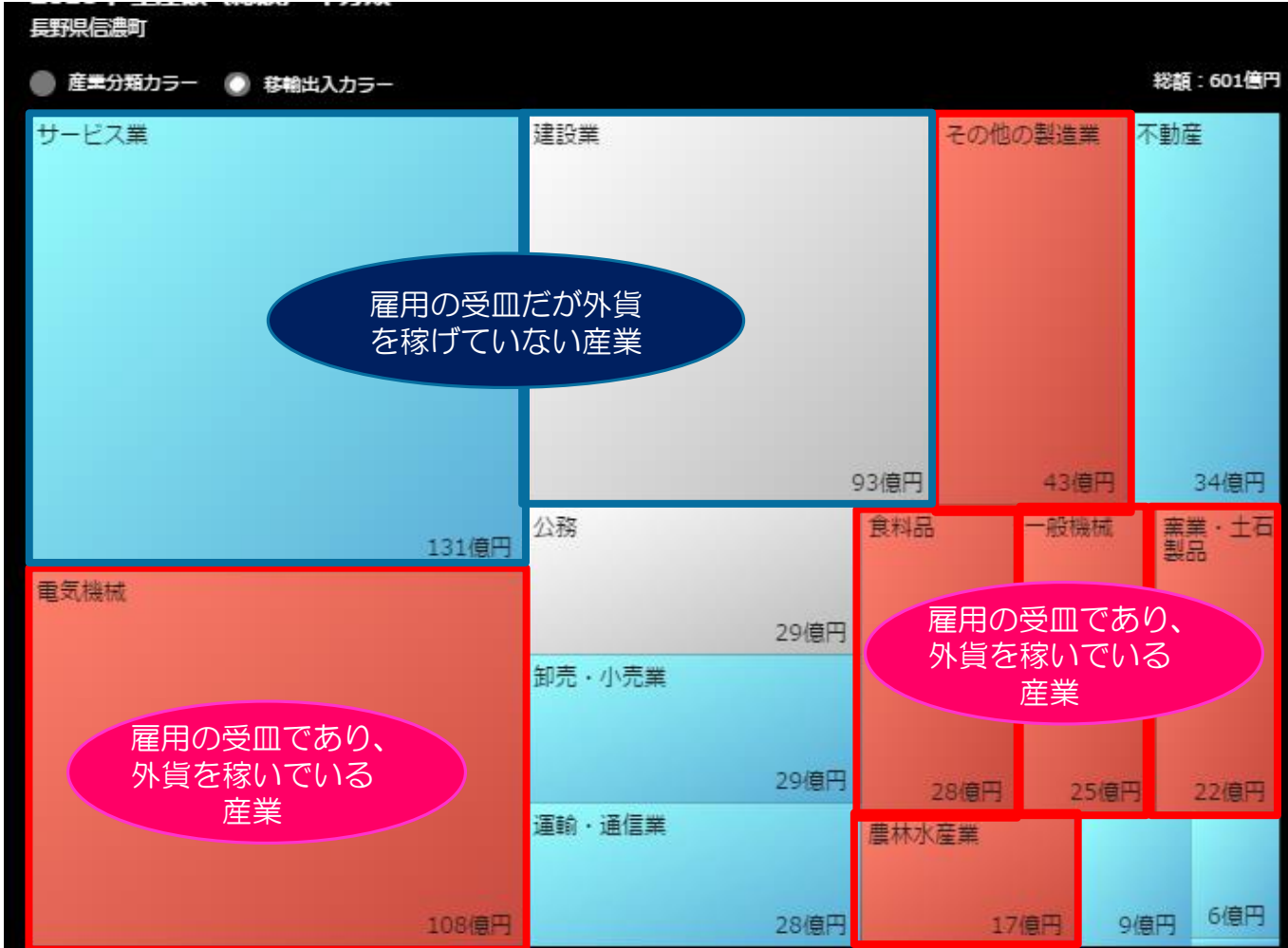
【出典】RESAS 地域経済循環マップ／総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」再編加工

【注記】 特化係数:域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。

1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合は、全国の当該産業の数値を1としたときの、ある地域の当該産業の数値。
労働生産性=付加価値額(企業単位)÷従業者数(企業単位)

地域産業の特徴(強み・弱み)の分析③

2010年 生産額(総額) 中分類 【RESAS:地域経済循環マップ-生産分析-移輸出入カラー】



■ 200人以上を雇用し、
地域外から所得を稼ぐ産業

第1次産業
・農業、林業

第2次産業
・製造業

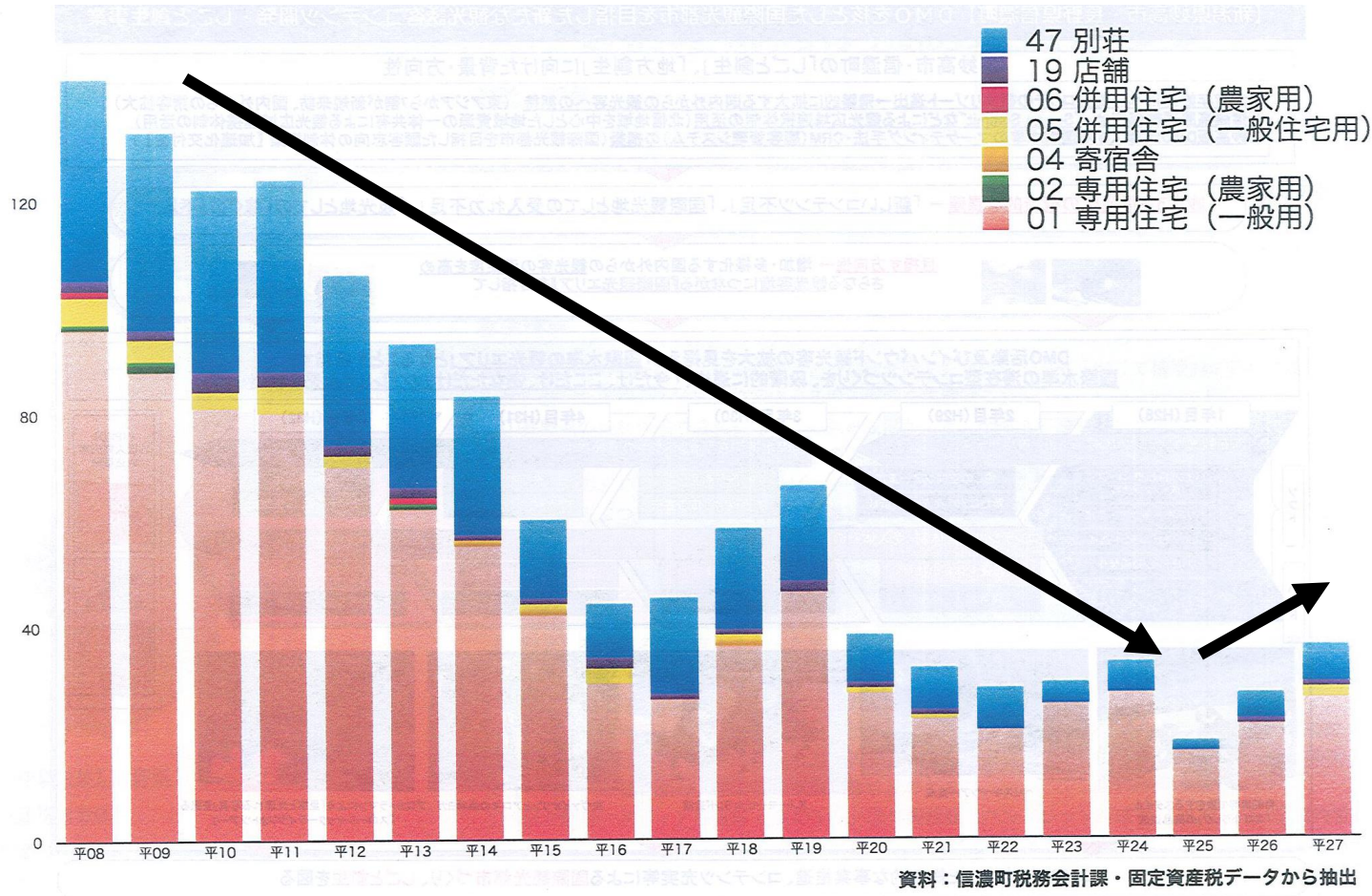


特化があり域外から外貨を稼いでいるのは、「農業、林業」と「製造業」

「建設業」と「サービス業」は、雇用の受皿となっている産業だが、域外から外貨をもたらせていない。

【出典】RESAS 地域経済循環マップ／環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

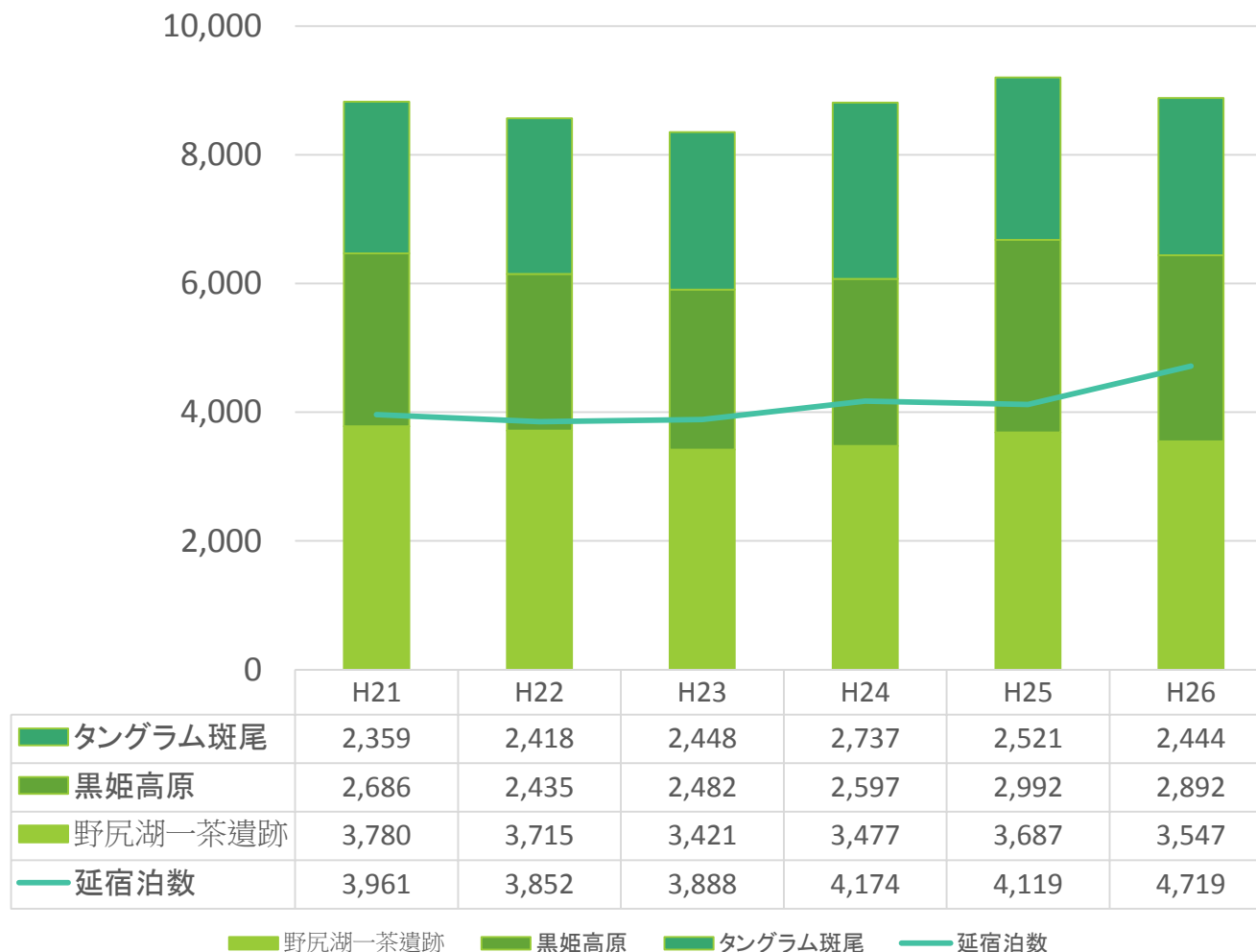
■ 木造建築件数の推移



町内での木造建築件数は急速に減少してきたが、平成25年を底に、若干の回復基調にある。

田園回帰、自然エネルギーへのニーズの高まり等に対応することで、地元木材を活用した木造建築の新たな商品開発はできないだろうか？

■観光客数・宿泊客数の推移



「宿泊業・飲食業」と関連がある観光客の入込の動向を見ると、近年は横ばいで推移している(県全体の入込が減少している中では健闘している)。

信濃町は、森林や自然体験を中心としたコンテンツ提供に力を入れており、これが市場ニーズに一定程度マッチしていると考えられる。

森林・木育等を活用した事業を検討できないか？

地方創生の事業の手段の模索③ 先進事例を参照

■岐阜県東白川村フォレストスタイル事業(2014年 地域情報化大賞)

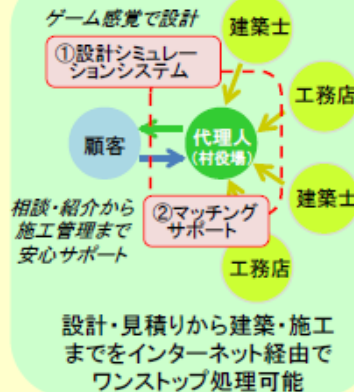
総ひのき注文住宅を村から街へお手軽ネット直販
(岐阜県東白川村の林業高度化プロジェクト)

「地域情報化大賞
2014」
大賞/総務大臣賞受賞

東白川村が、内外の住宅建築予定者向けに、住宅の間取り・費用を自由に設計できるシミュレーションシステムと、代理人(村役場職員)が最適な建築士や工務店をマッチングできる仕組みを構築
村内の基幹産業である材木加工、住宅建築などの関係者が一体となって参加・協力

高品質で安価な産直国産材を利用した、デザイン性・機能性の高い住宅建築を村外からも手軽に受注できる環境を実現したことで、林業・建築業の収入増等に寄与

フォレストスタイルプロジェクト

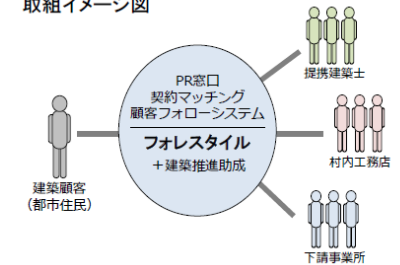


東白川村の東濃ひのき(国産材)綺麗な木目と高い耐久性が特徴



地元国産材を利用した家づくり

取組イメージ図



東白川村は、東濃ひのきというブランド木材の産地であるが、住宅市場の変化によって、村内工務店の受注数が激減。

この苦境を脱するため、村役場が主体となり専用ウェブサイトを通じて「東白川の家づくり」を提案する仕組みを構築。官民協働運営による信頼性の高さで建築にかかる費用が明瞭となるシステムにより、受注量の回復と村民の雇用確保を実現

村の基幹産業である林業・建築業の6次産業化を実現

<※他地域への横展開のため、システムの無償譲渡も容認>

- ・ 第3回全国村長サミットにおいて、「**村オブサイヤー(最優秀賞)**」を受賞
- ・ 国産材を利用した住宅建築の受注件数**153件**、売上高**約40億円**
東京都の顧客からも受注するなど、**新規顧客の獲得に貢献** ※H21~27年度実績
- ・ 村の森林組木材出荷量増(**約48%増加**)、建設業の売上増(**約70%増加**)、村民の一人あたり所得増(**約16%増加**)に貢献 ※最近3年間の比較

岐阜県東白川村は、総務省からの支援により、ICT活用事業(H20~21年度、国産材利用向上システムを構築)を実施

RESAS・統計を活用した事業立案の流れ

■活用ステップ

ステップ	施策・事業の立案作業	RESAS	統計	文献	フィールド
1	情報を集めて、問題意識を整理				○
2	地域の特徴(強み・弱み、課題等)を客観的に把握	○	○		
3	事業計画案(仮説)をつくる (目的・手段の明確化)			○	
4	事業計画を精緻化する (対象、期待効果、実現可能性、コスト計算等の精査)	○	○	○	○
5	事業計画書をつくり、関係者と共有し、行動に移る				

問題発見

問題解決策立案

真の課題を捉え、変革を促す事業計画・行動実践を！



前例のない21世紀型の 問題解決 ・ 価値創造

機能不全に陥っている
既存のモノ・コトの再設計

情報・
知識を
戦略的に
活用

知識・情報を活用した
新視点のモノ・コトの設計

そもそもの
目的を考える

最適な手段・方法
を模索する

知識や情報を活用する



■ 「長野県RESAS情報発信サイト」のご案内

信州をデータに基づいて分析し、課題発見や未来に向けた地域づくりの活動に役立てていただくためのRESAS情報サイトを開設しました。

「長野県RESAS情報発信サイト」 (事務局: 特定非営利活動法人SCOP)

<http://npo-scop.jp/resas-nagano/index.html>

長野県 RESAS 情報発信サイト

データで信州の未来を創ろう

RESAS

実施レポート
出前講座・セミナー等の実施レポートや分析例をご紹介します

講座のご案内
対象者別に出前講座やセミナー等の実施についてご案内

関連リンク
まち・ひと・しごと創生本部のホームページや活用事例を紹介

CHECK 講座のレポート分析をチェック
※coming soon

各種マップを活用したアウトプット例の紹介

高校・大学関係者の方はコチラ

NPO・市民団体・企業関係者の方はコチラ

- RESASポータル
- RESASに関するお知らせ(まち・ひと・しごと創生本部)
- RESAS最新情報(まち・ひと・しごと創生本部)
- 「政策アイデア☆コンテスト」公式サイト
- RESAS活用事例集



Facebookページも開設しました！

データから考える信州の未来。

<https://www.facebook.com/resasnagano/>

■内閣府によるポータルサイト及びeラーニング



<https://resas-portal.go.jp/>

RESAS オンライン講座 (基礎編) 開講のお知らせ

よくわかる!
RESAS オンライン講座
～ 地域をデータで見よう～

<https://e-learning.resas-portal.go.jp/lp/>